

(第3回)

世田谷区立砧小学校・砧幼稚園

改築基本構想見直し検討委員会 会議次第

令和6年10月23日(水) 午前10時00分～

会場：砧小学校 1階ランチルーム

【議題】

- 1 第2回検討委員会議事録の確認について
資料1 第2回世田谷区立砧小学校・砧幼稚園改築基本構想見直し
検討委員会議事録
- 2 第2回検討委員会資料に関する意見について
資料2 第2回検討委員会後追加意見まとめ
- 3 校舎・園舎配置計画及び外構計画案等について
資料3 校舎・園舎配置計画及び外構計画案
- 4 基本設計で考慮すべき基本事項(案)について
資料4 基本設計で考慮すべき基本事項(案)
- 5 児童ワークショップの実施報告について
資料5 世田谷区立砧小学校児童ワークショップ実施報告
- 6 改築だよりについて
- 7 基本構想見直し報告書(案)について
- 8 その他

第 2 回検討委員会後 追加意見まとめ

1. 松の保存について

- ① 地域の松山の松保存は強い希望である。
- ② 数年前の計画でも松は残すことで合意していた。
- ③ 残置した場合、施工時の影響や校舎基礎施工時の山留工事や外構工事による根の干渉が不可避。
- ④ B 案は A 案に比べ南校舎が 1 フロアー高く、また渡り廊下により 4 方を建物に囲まれるため、残置しても生育に影響が出る可能性が高く、枯れる可能も高いと考える（樹木医の診断によるが）特に 2 年半程度の施工期間中、足場に 4 方囲まれ通風や採光が見込めず、枯れるリスクがさらに高まると考える。
- ⑤ 枯れた場合、伐採・伐根にも多額の費用が掛かり学校運営にも支障が出る。
- ⑥ 樹木医診断による移植の検討や違う形での継承の検討を行ってはどうか。

2. 施工性について

- ① B 案は施工上通路の真ん中に位置するため、搬入経路に大きく支障がでる。また、躯体工事や仕上げ工事を行う足場設置にも影響が大きく、施工上難易度が上がり、工事費・工期に影響がでる
- ② 掘削土量増（約 1,380 m³）と外壁面積増（約 700 m²）に対し、工期算定を行った結果、B 案は約 4 か月 A 案に比べて工期が長くなる。また、簡易積算を行った結果、B 案は約 2 億円の増額となる（税込み）。
- ③ 棟が分かれることにより 渡り廊下が必要になり、工事費増、工事難易度増、漏水対策等施工上難易度が上がる
- ④ 施工上難易度の高さや枯れ木リスクから施工者が嫌遠し、不調となる可能性がある

3. 国分寺崖線の景観、富士山への眺望への配慮について

- ① A 案では B 1 階及び 1 階のメディアセンターから富士山ビューが実現

4. 小学校の計画内容について

- ① （旧 B 案について）この先 50 年、60 年と各世代の子どもたちが学んでいく校舎として学校生活を送っていく中で、「学年ごとの多目的スペース」がなくなること、「学年ごとのまとまりが確保しづらい」こと、みんなが集う「メディアセンターの面積が半分になること」、こうした学び舎としての観点、委員会で決定した「基本方針」をなしているのか、しっかり踏まえて考える必要がある。
- ② （旧 B 案について）BOP 室の場所が悪く、この場所は幼稚園の給食室や楽器庫にできないか。児童園児の登下校と給食搬入が重ならないようになる。

5. 認定こども園の計画内容について

- ① 医療的ケア児、特別支援のお子さんが、普段活動している園とは違う場で運動会を行うことは厳しい。子どもが十分力を出し切れなくなる教育環境はとても残念。園庭の十分な広さを確保していただくことが、これから長く続くこども園の安全安心な運営に重要である。

6. 環境配慮について

- ① 外壁面積が増加することにより、外気に触れる面積が増加し、環境負荷への影響がA案より大幅に増し、世田谷区が目指す公共建築物 ZEB 化の実現が困難となる。またメンテナンスに関する面では、改修面積の増加（ランニングコスト約 5,300 万円）、漏水に対するリスクも増加する。

7. その他

- ① B 案について、A 案の良さを含んだ折衷案を提案してほしい。
- ② B 案は懸念材料が多い。
- ③ 幼稚園と小学校の交流拠点ともなるメディアセンターが B 案では1階隅に位置し幼稚園からの動線も不便になる。砧小学校・砧幼稚園は、幼児教育と義務教育の架け橋期のモデル研究校・園として取り組んでいるため、連携や交流等が図り難いレイアウトでは困る。

以上

・送迎車及び緊急車両が出入りできるスロープを設置します

・トンネル門や玉石積みの意匠の同位置に再現を検討
・緊急車両や車椅子駐車場を整備

・幼稚園給食搬出入口を離して配置
歩車分離に配慮

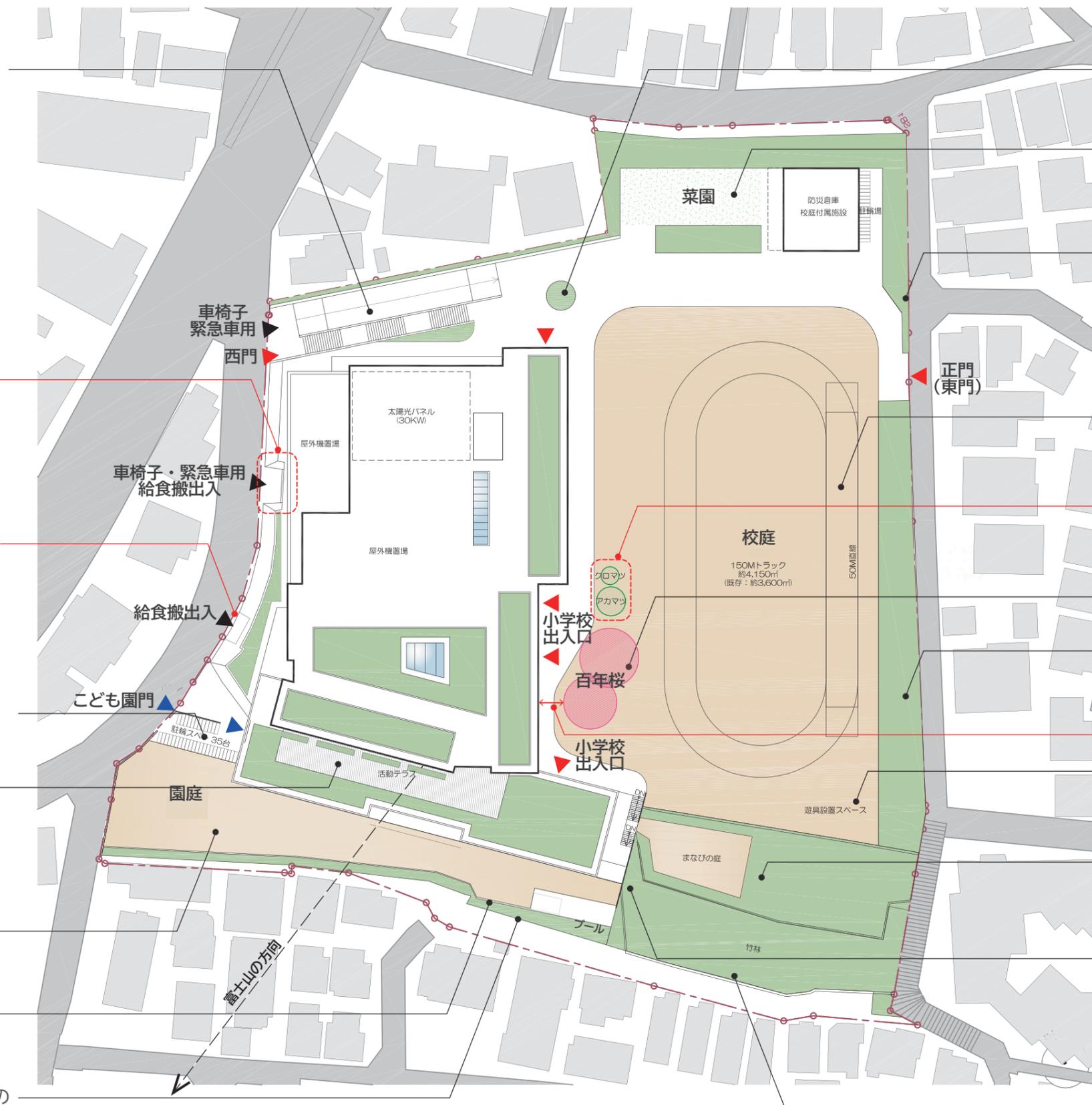
・送り迎え用・職員用に駐輪場を整備

・富士山を望む活動テラス
・屋上緑化により崖線の景観を継承

・日当たりがよく園舎からの見通しの良い園庭を確保します
運動会が行えるスペースを確保します

・遊具スペース

・園庭への日照に留意しながら、崖線のみどりの景観に配慮した外構計画



・子どもたちを迎え入れるシンボルツリー
（「銀座の桜」の移設を検討）

・菜園を設置
（既存藤棚の再現を検討）

・近隣との緩衝となる植栽帯

・日当たりがよく整形な校庭を確保します

・シンボルツリーとして松の木を移植

・百年桜を望みながら登校

・近隣との緩衝となる植栽帯
（既存の石碑等の移設を検討）

・百年桜と校舎の離隔を確保

・遊具スペース
（ぼんぼこ山の再現を検討）

・崖線の景観を形成する屋外活動スペース
（松など既存樹繁殖のための圃場スペースとしての活用を検討）

・幼稚園と小学校の連携・交流が可能な動線を確保します



・既存の樹木を極力残し既存の植生を守る
国分寺崖線原風景を継承する外構計画

トンネル門や玉石積みの意匠の
同位置に再現を検討

昇降口を分散配置

学年ラウンジ
学年ごと利用する多目的スペース



送迎車及び緊急車両動線

送迎車及び緊急車両動線

斜線制限に配慮し
セットバック

5室から4室に変更
崖線に対する圧迫感を軽減

送り迎え用・職員用
に駐輪場を整備

崖線の地形を活かした
砦小ならではの景観
(富士山ビュー)

松の木を移植

百年桜との
離隔を確保

活動テラスへの開口を拡張

管理面に配慮し、特別支援学級
とすまいるルームを別フロアに配置

屋外活動が授業の妨げ
とならないよう配慮

歩車分離に配慮

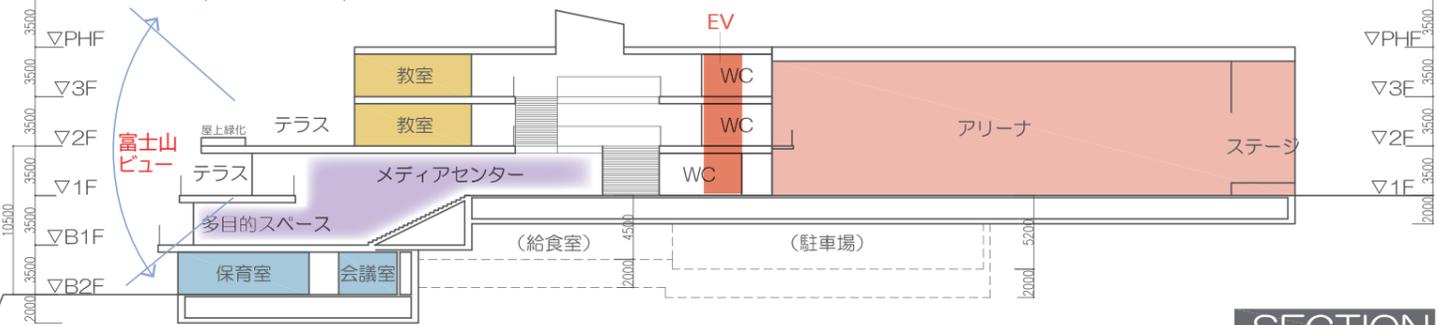
凡例

- ▲ 小学校出入口
- ▲ 幼稚園出入口
- ▲ 給食搬出入口
- 緊急車両動線
- 車椅子動線
(バギー・ストレッチャー等)
- 地域開放範囲
- 地域開放動線

廊下を直線に修正

園庭は運動会が行えるスペースを確保

国分寺崖線に対して
セットバック



SECTION
S=1/500